

エアゾール缶(スプレー缶)、カセットボンベは必ず中身を使い切ってからごみ(資源)に出しましょう。

中身が残ったエアゾール缶(スプレー缶)、カセットボンベをそのままごみ収集に出すと、ごみ収集車やごみ処理施設での引火や破損事故の原因となり、大変危険です。

① 中身の有無を確認しましょう

缶を手で振って中の音を聞いてください。中身が残っていると、『シャカシャカ』『チャプチャプ』などの音がします。

② 使い切れない物は中身を出しましょう

■エアゾール缶(スプレー缶)の場合

エアゾール缶の中身を使い切ることができない場合、必ず火気のない風通しのよい屋外で、

- シューツという音がしなくなるまでスプレーボタンを押して中身を出し切ってください。



- または、中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等を使って中身を出し切ってください。(商品に記載された使用説明を必ずご覧ください)

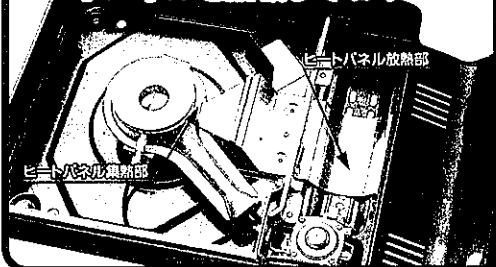


※この場合、ティッシュや新聞紙などに吹き付けることで、周囲への飛散にご配慮ください。

※屋内で中身を出すと、近くの火気や静電気引火することがあり危険です。お止めください。

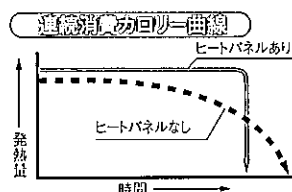
■カセットボンベの場合

(社)日本ガス石油機器工業会登録商品の
カセットこんろは2007年4月生産分より
ヒートパネルを搭載しております。



ヒートパネルとは? (容器加温装置)

カセットボンベを適度に温める事で、ガス圧の低下を制御します。この働きにより、最後まで強い火力を維持し、カセットボンベ中のガスを最後まで消費することができます。



※カセットボンベを使い切れないものや、カセットボンベの処理の方法のご質問は、社団法人日本ガス石油機器工業会 [カセットボンベお客様センター] ☎ 0120-14-9996 まで、お問い合わせください。

※カセットボンベには、[中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等]は付いておりません。

③ ルールを守ってごみ(不燃ごみ・資源ごみ/缶類、金属類など)に出しましょう

- ごみ(不燃ごみ・資源ごみ/缶類、金属類など)の出し方(「分別の仕方」等)は、お住まいの地域によって異なりますので確認して、ルールを守りましょう。